

2007年12月10日

日興コーディアル証券株式会社
日興グローバルラップ株式会社

日興SMA グローバルポートへの日本株式型(仮称)モデルの追加と プレミアポートサービスの休止について

日興コーディアル証券株式会社(本店所在地:東京都千代田区、取締役社長:北林幹生)は、この度、「日興SMA」(SMA; Separately Managed Account の略で、お客様固有の資産管理口座をいいます。)の更なる発展を図り、お客様の様々な資産運用ニーズに幅広くお応えできるよう、「日興SMA」ブランドでご提供している2つのサービスを統合いたします。

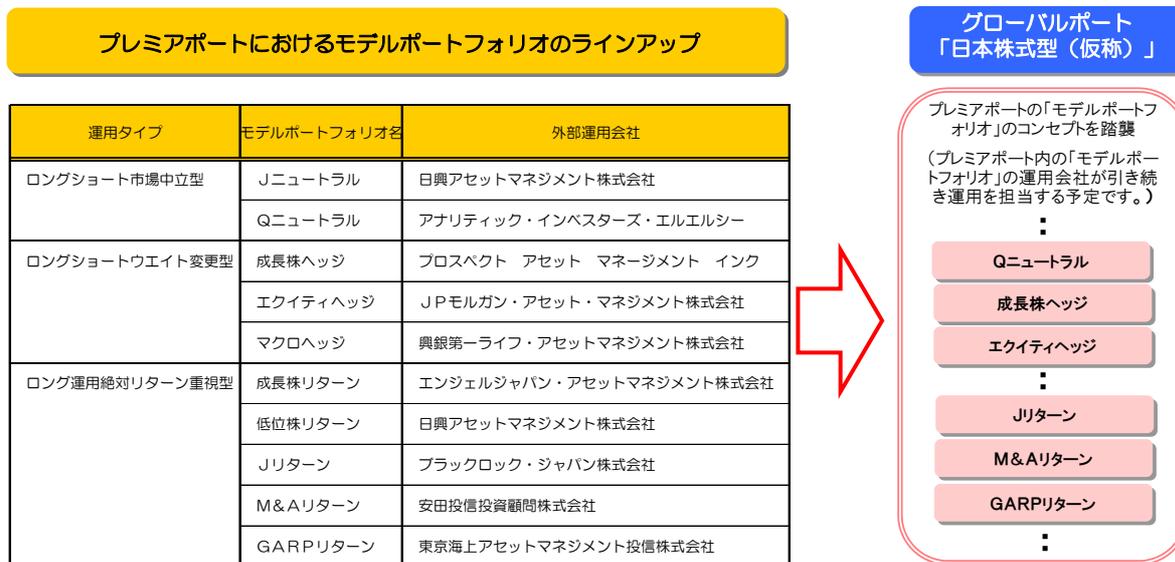
私どもはこれまで、国内株式等を対象とした一任運用サービス「日興SMA プレミアポート(以下、「プレミアポート」といいます。)」と、国内外の厳選された複数の投資信託を組み合わせる本格的な国際分散投資を実現する「日興SMA グローバルポート(以下、「グローバルポート」といいます。)」という2つのサービスを、「日興SMA」というブランドを通じてご提供してまいりました。2008年4月より「プレミアポート」における国内株式による運用サービスを、新たな資産配分である「日本株式型(仮称)」として「グローバルポート」に追加させていただき、「日興SMA」における両サービスの統合を実施させていただきます。

「日本株式型(仮称)」には、「プレミアポート」でご提供しておりますモデルポートフォリオと同様のコンセプトで運用を行う投資信託をラインアップに組入れさせていただきます。更に、今まで「プレミアポート」でご提供出来なかった手法で運用される投資信託についてもラインアップに加えることで、国内株式による資産運用ニーズをお持ちのお客様に対して投資信託を活用した多様な運用のご提案が可能となります。

また、既に「グローバルポート」を通じて、国内外の債券・株式等に投資する投資信託による運用を開始いただいているお客様につきましても、既に保有されている資産配分の分散投資効果を高める目的で今回追加される新しい投資信託をご活用いただくことも可能となります。

(「グローバルポート」における「日本株式型(仮称)」については次ページのイメージ図をご参照下さい)

「グローバルポート」における「日本株式型(仮称)」のイメージ図



(注) 原則、個々のモデルポートフォリオについてそれぞれ独立した投資信託として商品組成される予定ですが、各モデルポートフォリオの資産規模や運用成績の如何によっては、今回新設される投資信託が同種の運用手法を有する他の投資信託と統合されることや、現在のモデルポートフォリオの運用会社から他の運用会社に変更されることがあります。

私どもは、2004年4月に日本初のSMAサービスのご提供を開始して以来、サービス提供体制の強化とラインアップの拡充に努めてまいりました。業界といたしましても、近年、資産運用の流れが「貯蓄から投資へ」と進展する中、お客様の投資目的等に合わせた「ラップ口座」による運用サービスへのニーズは「ファンドラップ」を中心として高まりを見せており、運用資産残高は2007年9月末現在8,091億円(出所: 社団法人 日本証券投資顧問業協会「ラップ口座を利用する顧客との契約状況」)まで拡大しております。

今回のサービスの統合に伴い、「プレミアポート」における「モデルポートフォリオ」は新たに「グローバルポート」の採用投資信託となりますが、各投資信託の運用においては引き続きこれまでの運用会社が担当することを予定しております。また、「プレミアポート」の特長の一つである、主に機関投資家等にご提供されてきた投資顧問サービスを個人のお客様にもご提案させていただくというサービスコンセプトはそのままに、今後も国内株式を中心とした多種多様な運用手法のラインアップ拡充に努めてまいります。

「プレミアポート」サービスの休止につきまして

この度の「プレミアポート」および「グローバルポート」のサービス統合に伴い、「プレミアポート」につきましては、2007年12月11日以降の新規契約、ならびに2008年4月1日以降の契約更新およびご入金を伴う買付の受付を行わず、2009年3月末をもってサービスのご提供を休止させていただきます。

なお、「プレミアポート」の代替サービスとして「グローバルポート」での運用を継続いただいた場合でも、運用形態の変更に伴い、これまで「プレミアポート」にてご提供しておりました「金額ベース株式売買サービス」、「ストップ・ロス機能」、「カスタマイズ機能」のサービスご提供についても休止させていただきます。

以 上

【日興SMA(プレミアポート)に係る手数料等について】

1. 日興SMA手数料

日興SMA取引口座の開設および維持管理、その他日興SMA取引全般にかかるサービスのご提供の対価として、日興コーディアル証券株式会社(以下、「日興CS」といいます。))にお支払いただく手数料です。日興SMA手数料は、日興SMA取引口座への入金日、または契約更新日の前営業日におけるSMA契約額に対して、最大0.945%(年率・税込)となります。

2. プレミアポート投資顧問料(基本報酬)

投資一任契約に基づく、お客様の運用資産に関する投資判断および運用の対価として、日興グローバルラップ株式会社(以下、「日興GW」といいます。))にお支払いただく投資顧問料です。プレミアポート投資顧問料(基本報酬)は、個別ポートお買付時、または契約更新日の前営業日における、投資一任契約における総契約資産額に対して、最大0.84%(年率・税込)となります。

3. プレミアポート投資顧問料(成功報酬)

モデルポートフォリオの中に運用実績に応じて成功報酬がかかるものがあります(Jニュートラル、Qニュートラル、成長株ヘッジ、エクイティヘッジおよびマクロヘッジ)。成功報酬は解約時または契約更新時の個別ポートの絶対リターン額に対して31.5%(税込)を上限としたモデルポートフォリオごとに定められた成功報酬率を乗じた金額を日興GWにお支払いただきます。なお、上記モデルポートフォリオの成功報酬の料率は2007年12月現在21%(税込)となっております。

【プレミアポートにおける元本欠損のリスク】

プレミアポートは、国内証券取引所に上場されている株券・ETF・REIT・優先出資証券(以下、「株券等」といいます。))にお客様の資産を配分します。そのため、以下のようなものがお客様のリスクとして考えられます。

1. 価格変動リスク

株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、裏づけとなっている資産の価格や評価額の変動に伴い、プレミアポートに組入れられている株券等の価格が変動することにより、投資元本を下回り損失が生じるおそれがあります。

2. 流動性リスク

プレミアポートに組入れられている株券等について、流動性の低い銘柄に投資した場合、売買に支障をきたすおそれがあります。

3. 信用リスク

プレミアポートに組入れられている株券等の発行者等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏づけ資産の発行者等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、当該株券等の価格が変動することにより、投資元本を下回り損失が生じるおそれがあります。

4. 投資一任に関するリスク等

投資一任契約に基づいて、運用会社が行った投資の結果は、すべてお客様に帰属します。そのため、運用会社である日興GWの運用の結果、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

また、プレミアポートでは金額・株数指定取引で取引を行うため、微細な株数の取引が行われる可能性や、その結果として、ポートフォリオの一部の銘柄において、短期間に反対売買や重複する売買が行われる可能性があります。さらに、お客様ご自身の申告等に基づいて、特定の銘柄を「モデルポートフォリオ」の構成銘柄から除外するカスタマイズ機能をご利用いただくことにより、運用会社の提示する「モデルポートフォリオ」と実際の運用が行われるお客様専用の「個別ポート」の投資の結果が異なる場合があります。

5. 株券等貸借取引の保証金に関するリスク

プレミアポート取引では、ショートポジション(株券等の売建取引)を実現するため、株券等貸借取引を利用します。その際、お客様の運用資産から保証金を差入れていただきますが、この保証金は、お客様からのお預り資産と日興CS独自の資産と分けて保管する「分別保管」の対象とはなりません。したがって、日興CSが民事再生手続きや破産になった場合等、お客様から差入れていただいた保証金が返還されず、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

6. ストップ・ロス機能について

プレミアポート取引では、お客様が「個別ポート」ごとにストップ・ロス機能を利用して、強制的に運用を停止し「個別ポート」を現金化するストップ・ロス・ポイントを設定することができます。「個別ポート」の評価額が、指定されたストップ・ロス・ポイントを下回った場合には、すべての株券等を現金化する売買注文を日興GWが日興CSに発注いたします。

しかし、これによる約定価格は、必ずしもお客様が指定されたストップ・ロス・ポイントの金額を保証するものではありません。例えば、株式市場の急激な変動等により、現金化されたときの金額が当初ご指定いただいたストップ・ロス・ポイントの金額を下回るおそれがあります。

【日興SMA(グローバルポート)に係る手数料等について】

1. 日興SMA手数料

日興SMA取引口座の開設および維持管理、その他日興SMA取引全般にかかるサービスのご提供の対価として、日興CSにお支払いいただく手数料です。日興SMA手数料は、日興SMA取引口座への入金日、または契約更新日の前営業日におけるSMA契約額に対して、最大0.945%(年率・税込)となります。

2. 各投資信託に係る手数料

間接的な費用として、グローバルポート取引に関しては各投資信託の純資産額に対して信託報酬・管理報酬等(各投資信託の純資産額に対し最大年率2.1%※)が課されます。また、お客様にご投資いただくご参考資産配分の中に、換金時において信託財産留保額(基準価額に対し、最大0.5%を乗じた額、もしくは換金数量1万口に対し最大50円)・成功報酬(基準価額が一定の水準を超えた場合に、その超過額の最大21%(税込))をお支払いいただく投資信託が含まれる場合があります。さらに、その他費用(信託事務の諸費用等、組入れ有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息等)をご負担いた

だきますが、これらは運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。詳細は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)にてご確認ください。

※国内籍投資信託は税込

3. 外国為替スプレッド

日興SMA取引口座において外国為替取引を行う場合、外国為替市場の動向をふまえて日興CSが決定した為替レートによるものとし、日興外為基準レート(最終レート)に、外国為替スプレッドが加減されます。

通貨	スプレッド
米ドル	30 銭
ユーロ	40 銭
豪ドル	50 銭

※日本円を除く外貨間(米ドル・ユーロ・豪ドル)の外国為替取引については、一方の外貨の売り(円の買い)と他方の外貨の買い(円の売り)の2つの取引が同時に行われたものとして取扱います。その際の外国為替スプレッドは半分となります。

【グローバルポートにおける元本欠損のリスク】

グローバルポートは、日本を含むさまざまな地域の株式・債券・オルタナティブ(代替資産)等に投資する投資信託にお客様の資産を配分します。そのため、以下のようなものがお客様のリスクとして考えられます。なお、お客様にご投資いただく資産配分に組入れられる投資信託は、お客様ご自身の許容リスクおよび保有時期等によって異なります。お客様ご自身の資産配分に係るリスク詳細につきましては、各投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、内容をご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 価格変動リスク

投資信託に組入れられている各種有価証券等の価格の変動により、当該投資信託の基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではありません。

2. 流動性リスク

投資信託に組入れられている各種有価証券等について、市場規模や取引量が少ない場合、期待される売却価格で売却できない等の要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではありません。

3. 信用リスク

投資信託に組入れられている各種有価証券等の発行者である企業の財務状況の悪化、国の財政・政治状況の悪化等により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではありません。

4. 流動性リスク

投資信託に組入れられている各種有価証券等に外貨建て資産が含まれている場合、為替の変動により基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではありません。

5. 外国為替取引に関するリスク

グローバルポート取引において外貨建ての投資信託に投資を行う場合、「日興 SMA 預り金口」内で外国為替取引を行うことがあります。その際、為替の変動によって、当該通貨の対円での下落による円ベースでの損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。また、外国為替取引において、受渡日が到来するまでの約定代金は、「分別保管」の対象となりません。したがって、日興CSが民事再生手続きや破産等になった場合等、当該約定代金が返還されず、損失を被り、投資元本を割込むおそれがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではありません。

【会社の概要】

提供会社	商号等 日興コーディアル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 129 号 加入協会 日本証券業協会、社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会
運用会社	商号等 日興グローバルラップ株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 449 号 加入協会 社団法人日本証券投資顧問業協会

(上記運用会社とは、プレミアポートにおける運用会社です。)